

各校で「言語活動の充実」を目指した授業が増えています。

→ 国語科では「**単元を貫く言語活動**」を設定することが重要になります。

しかし、次のような悩みや疑問の声が・・・

- 単元を貫く言語活動を何にしてよいか分からない。
- 単元構成をどのようにしてよいか分からない。
- 単元を貫く言語活動を設定すると、授業時数が足りない。
- きちんと読み取らせなくて、学力は大丈夫なの？
- これまでの主題読みはしていけないの？



このような声に対して「授業改善のポイント」として何回かに分けて紹介していきます。

まず、第1回目は
「**単元を貫く言語活動を決めるのが難しい**」という声について、具体例を使って説明します。



「大造じいさんとガン」 小学5 学年



椋鳩十の「大造じいさんとガン」は、児童にも人気がある教材です。



あなたは、この教材の「単元を貫く言語活動」を何にしますか？

推薦のリーフレットを作る。紙芝居を作る。本の紹介文を書く。本の帯を作る。
本のショーウィンドウを作る。朗読をする。群読をする。 など・・・

教科書会社の指導例（一部省略、波線引用者）

| | 光 村 図 書 | 東 京 書 籍 |
|-----------|--|--|
| | 作品を自分なりにとらえ、朗読しよう（読む） | 動物と人間のかかわりをえがいた物語を読もう（読む） |
| 単元を貫く言語活動 | 朗読をする。 | 本の帯を作る。 |
| 一次 | 全文を通読し、単元名・リード文から学習の見通しをもつとともに、「朗読」について確認する。 | 一つの物語をきっかけにして、関連する本を読み広げるという学習の見通しをもつ。 |

| | | |
|----|---|--|
| 二次 | <p>「情景」について理解し、それを踏まえ、1の場面での大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取る。</p> <p>2・3の場面での大造じいさんの残雪に対する見方の変化を読み取る。</p> <p>4の場面での大造じいさんの心情を読み取り、全体を通して大造じいさんの人物像をまとめる。</p> | <p>教材のねらいと流れを確かめ、物語を読んで展開に沿って大造じいさんの残雪への気持ちの変化を読み取り、心に残ったことを話し合う。</p> |
| 三次 | <p>自分の好きな場面の朗読のしかたを考え、朗読を発表し、感想を伝え合う。</p> <p>残雪とハヤブサの戦いの場面を読み、短文が続く書き方の工夫について話し合う。</p> | <p>動物と人間のかかわりをえがいた本を読む。</p> <p>読んだ本の中から友達に推薦したいものを一冊選び、本の帯を作って紹介し合う。</p> |

同じ教材でも「単元を貫く言語活動」は違ってくる。

なぜ？



単元を貫く言語活動「朗読をする」と「本の帯を作る」はねらい達成のための手段であって目的ではない。

目的は・・・

身に付けたい力（ゴール）は何か？ ということ
 学習指導要領 第5学年及び第6学年 「C読むこと」
 エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた描写について自分の考えをまとめること。



単元を貫く言語活動「朗読をする」「本の帯を作る」ことのねらいがここにあります。

まとめると



単元を貫く言語活動を選択するポイントは

身に付けたい力（ゴール）にふさわしい、最適な言語活動を選ぶ。

- 学習指導要領の指導事項を確認する。
 - ※ 他の領域との関連指導も考慮する。
- 教材や言語活動の特質を分析する。
- 児童が「やってみたい」「おもしろそうだ」という興味関心を示すものを選ぶ。